



病院DXの進め方事例 - 重点を置くべきポイント -

今や「医療DX」というワードを聞かない日は無いくらい、注目を集めています。しかし、「**コンセプトとしては理解できるが、具体的な方法論が無い**」と悩む医療機関も多いのではないのでしょうか。

厚労省も、医療情報システムの安全管理ガイドラインを大幅に改訂したり、今回の診療報酬改定でも重要テーマの一つに医療DXを掲げたりしています。では、**国や厚労省が示す方針や課題をクリアしていくことで、医療機関にとっての目指すべき未来はやってくるのでしょうか？**

当然、そうではありません。

医療機関は医療機関自身でビジョンを見据え、実践していかなければなりません。その際のポイントは何なのか。保険医療という調整経済の中で、われわれは**どういうDXができるのか。**

今回は、当研究会事務局の金城から、とある病院の事例を紹介しつつ、その**計画の立て方や考え方、周辺知識等について解説**し、皆様の参考になることを目的としています。是非、奮ってご参加ください。

また、現地参加の方は研修会後に懇親会も予定しております。是非、楽しく熱く語り合いましょう。



【詳細・お申込はこちら】



<https://kanagawa-kenkyukai-51.peatix.com/>

日時：2024年 7月19日(金) 19:00～21:00

場所：神奈川県立かながわ労働プラザ（エルプラザ）
8階 第1第2会議室 & オンライン（後日オンデマンド配信はありません）

参加費：現地参加 会員 1,000円 非会員 2,000円 オンライン 3,000円

講師紹介

金城 悠貴（きんじょうゆうき）

済生会横浜市東部病院 DX推進室 副室長（兼 総務室長）

2003年東京都立大学理学部卒。医療情報システムベンダーSE、院内SE、システムコンサル等を経て、2016年より済生会横浜市東部病院に入職。

医事企画室、法務コンプライアンス室を経て、2023年度よりDX推進室。

保険医療のパラダイムシフトに備え、日本医療経営実践協会 神奈川研究会を設立し、志を持つ人材のネットワーキングを進めている。

帝京科学大学非常勤講師、関東学院大学・大学院 非常勤講師、医療情報技師、医療経営士2級。

